

日本原子力学会 核燃料部会
平成 28 年度第一回運営小委員会議事録

日時 : 平成 28 年 5 月 23 日 (月) 13:30~16:30

場所 : 日本原子力学会 事務局 会議室

出席者 : (委員以下は 50 音順)

湊部会長、山中副部会長、伊藤副部会長、安部田委員 (オブザーバー
規制庁小澤氏、北野氏)、池田委員、岩元委員、上田委員、宇埜委員、
尾形委員、草ヶ谷委員、高松委員、手島委員、永瀬委員、野田委員、
平井委員、巻上委員、村瀬委員、河原 (記)

議事

1. 前回運営小委員会議事録等の確認

河原庶務幹事から、資料 1 により、前回 (平成 27 年度第四回) 運営小委員
会議事録が提示された。コメント反映済みであり、説明は省略した。

2. 平成 28 年度核燃料部会運営小委員名簿、業務担当

河原庶務幹事から、資料 2-1 により平成 28 年 3 月 27 日の核燃料部会全
体会議で承認された内容を反映した運営小委員名簿が提示された。

また、資料 2-2、2-3 により、平成 28 年度の業務担当について報告された。
平成 28 年 3 月 27 日の全体会議で報告された内容と同じであり、説明は省略
した。なお、運営小委員名簿 (資料 2-1) および業務担当 (資料 2-2) は、核
燃料部会ホームページに掲載済みであることを報告した。

3. 平成 27 年度収支実績と平成 28 年度予算の確認

河原庶務幹事から、資料 3 により、平成 27 年度収支実績と平成 28 年度
予算の状況が報告された。

4. 核燃料部会規約、内規の改定について

河原庶務幹事から、資料 4 により、平成 28 年度の全体会議で確認された
改正内容に加え、学会事務局の方針により核燃料部会規約の承認権限の変更
等も併せて改正することについて、メール審議にて対応することの説明がな
された。

議論の中で、改正内容の説明を充実すること、核燃料部会部会賞表彰内
規の改定について核燃料部会全体会議へ審議が必要ではないか、との意見
が出されたため、庶務幹事にて学会事務局に確認するなど再検討した上で、
メールにて運営小委員の確認を受けることとなった。

5. 「燃料デブリ研究専門委員会」設立申請状況

伊藤副部長から、資料5により、5月16日の企画委員会に山中主査候補と伊藤幹事候補が出席し、設立趣旨を説明・質疑応答を行った上で、本研究専門委員会の設立を理事会に提案することが了承され、5月24日の理事会にて正式に設立が承認される予定である旨報告された。

6. 平成28年度 夏期セミナーの準備状況

手島夏期セミナー幹事（平成28年度）から、資料6により、夏期セミナーの準備状況として、開催案内を5月11日に部会ホームページに掲載し、部会員にメールで周知していることなどが報告された。当日配布するセミナー資料について、印刷代のコスト削減策としてUSBでの事前配布を第1案とし、よりコスト削減が可能となるダウンロード方式も検討していくことが確認された。

また、上田次期夏期セミナー幹事（平成29年度）から、来年度の夏期セミナーの開催時期について相談があり、学生の就職活動との兼ね合いなど議論したが、当面は従来どおり7月前半で開催していくこととなった。

7. 秋の大会での企画セッションの内容について

尾形委員から、資料7により、平成28年秋の大会（9月7日～9月9）の企画セッションの内容について提案がなされた。

議論の中で、核燃料部会ロードマップ検討WGの状況を説明し、今後の方向性について議論してもらうのがいいのではないかと意見があり、企画セッションとして提案していくこととし、提案書の内容についてメールにて確認していくこととなった。

8. 平成28年度 前期部会報について

野田広報（部会報）幹事から、資料8により、核燃料部会報（No.52-1）の進捗状況が報告され、平成28年10月頃発行を予定しており、まだ執筆者が決まっていない案件については、別途調整させてほしい旨協力の依頼があった。

なお、目次の「後輩に伝えること」（大ベテランから「直言」を頂く）については、平成25年度以降部会報に掲載されていないことから、今後掲載できるよう調整していく方向性が確認された。

9. IAEAのTWGFPT委員の推薦の考え方とIAEAのTWGFPT総会報告

安部田委員から、資料9により、核燃料部会からの委員の推薦の考え方について提案がなされた。

議論の中で、委員としては「実務に精通した中立機関に所属している人」

が望ましく、まずは JAEA 内で持ち帰り相談することとなった。

また、規制庁の北野氏より、本年 4 月 20 日、21 日に開催された TWGFPT 総会の報告がなされた。

10. 平成 28 年度 核燃料部会賞について

尾形委員から、資料 10 により、前回第 4 回部会賞選考小委での議論の内容について説明がなされ、今年度からは第一段審査の合格の基準点を明示することが提案された。

議論の中で、審査する側の目安として概ねの基準点を明示することについては、理解が得られた、一方で審査の詳細な方法については、引き続き議論していくこととなった。

11. ポジションステートメント (PS) について

尾形委員から、資料 11 により、作成中の PS「燃料デブリについて」について、本年 4 月 27 日の広報情報委員会に付議され、その際のコメント（理解の助けとなる図表や写真などを用いた方が望ましい、解説に「3. 部会での取り組み」は不要ではないか）を踏まえて、今後資料を修正していくこととなった。

12. その他

(1) OECD/NEA NI2050 専門家会合について

尾形委員から、本年 3 月 1 日から 3 月 5 日に開催された専門家会合の報告があり、情報共有がなされた。

(2) 次回予定

次回（平成 28 年度第二回）運営小委員会は、夏季セミナーの初日（7 月 6 日）に開催する予定とした。

13. 結言

企画小委員会では、運営小委員会と同じような議論をするのではなく、若手を中心に斬新・将来性のあるアイデアなどを議論してほしい旨、部会長から示された。

以上